

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	1 焼津市における良好な住環境の実現(地域住宅計画)													
計画の期間	平成24年度～平成29年度(6年間)					交付対象	静岡県、焼津市							
計画の目標	『既存ストックを有効に活用し、快適で住みやすい居住空間を実現する。』 『利便性・安全性に配慮した住宅地の供給を目指す。』 『災害に強い安心できる住環境を目指す。』													
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅ストックの居住性向上を図るために3点給湯設備等個別改善を実施する戸数 ・利便性、安全性のある宅地の供給区画数 ・災害に強い安心できる住環境を目指すため市内の空家の実態を把握する ・災害に強い安心できる住環境を実現するため市内の特定空家等の割合を低下させる 													
定量的指標の定義及び算定式											備考			
										定量的指標の現況値及び目標値		備考		
										当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H 末)		最終目標値 (H29末)	
①	市営住宅の個別改善による3点給湯設備の設置率 (3点給湯設備の設置戸数/市営住宅全戸数403戸)										70%	—	88%	
②	利便性・安全性のある宅地の供給区画数 (幅員4m以上の道路に面した宅地を造成供給する区画数)										663区画	—	803区画	
③	市内の空き家の実態把握										0%	—	100%	
④	市内の特定空家等の除却率 (除却された特定空家等の戸数(被告されたもの)/特定空家等の戸数(被告されたもの))										0%	—	100%	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	366百万円	A	316百万円	B	0百万円	C	50百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	13.7%		

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
									H24	H25	H26	H27	H28	H29						
A1 地域住宅計画に基づく事業(基幹事業)																				
1-A1-1	住宅	一般	焼津市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業(西松原団地)	個別改善事業(住戸改善)	焼津市								81	○			
1-A1-2	住宅	一般	焼津市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業(塩津団地)	個別改善事業(住戸改善)	焼津市								146	○			
1-A1-3	住宅	一般	焼津市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業(保福島団地(簡耐))	個別改善事業(外壁改善)	焼津市								8	○			
1-A1-4	住宅	一般	焼津市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業(中根新田団地)	個別改善事業(外壁改善)	焼津市								19	○			
1-A1-5	住宅	一般	焼津市	直接	市	公営住宅等ストック総合改善事業(宗高団地)	個別改善事業(住戸改善)	焼津市								13	○			
1-A1-6	住宅	一般	静岡県	間接	焼津南部組合	住宅市街地基盤整備事業	焼津市南部土地区画整理事業	焼津市								41	○			
1-A1-7	住宅	一般	焼津市	直接	市	空き家再生等推進事業	空家実態調査、除却補助	焼津市								8	○			
															合計			316		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
									H24	H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考			
									H24	H25	H26	H27	H28	H29						
1-C-1	住宅	一般	焼津市	間接	個人	重度身体障害者住宅改造費助成事業	市内民間住宅	焼津市								2				
1-C-2	住宅	一般	焼津市	直接	市	津波避難用階段設置事業	津波避難用階段設置	焼津市								48				
															合計			50		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1-C-1 在宅重度身体障害者の安全を確保する。

1-C-2 地震による津波被害対策として団地入居者及び近隣住民の安全を確保する。

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(指標①) 市営住宅の個別改善による3点給湯設備の設置を進めることにより、市営住宅の居住性が向上した。				
	(指標②) 利便性・安全性のある宅地の供給を促進することにより、居住環境が向上した。				
	(指標③) 市内の空家の実態把握を行ったことにより、空き家対策の促進に繋がった。				
	(指標④) 市内の特定空家等が除却されたことにより、安全性や景観、生活環境が向上した。				
II 定量的指標の達成状況	指標①（市営住宅の3点給湯設置率）	最終目標値	88%	目標値と実績値に差が出た要因	市営住宅における3点給湯の設置率は向上したが、当初予定していた年次計画に対し事業の進捗に遅れが生じたほか、一部団地では入居者の体調不良により施工に伴う仮移転が困難であったことから事業を見送るなど、目標には届かなかった。
		最終実績値	79%		
	指標②（利便性・安全性のある宅地供給区画数）	最終目標値	803区画	目標値と実績値に差が出た要因	土地区画整理事業の順調な進捗により、目標を達成することができた。
		最終実績値	805区画		
	指標③（市内の空き家実態把握）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	少子高齢化により今後も更なる増加が見込まれている空き家に関し、実態把握を行い、目標を達成することができた。
		最終実績値	100%		
	指標④（市内の特定空家等の除却率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	空家等対策の推進に関する特別措置法により勧告を行った空き家を除却したことにより目標を達成することができた。
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		指標1については目標より若干の遅れは生じているが、3点給湯の設置により、入居者の居住性の向上に繋がっている。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
指標1について、今後は市営住宅を限られた財源で維持管理していく必要がある中で、高齢化社会の進行や住宅困窮者の増加している背景を踏まえ、施設の長寿命や福祉対応も併せながら、居住性の向上を図る事業を推進していく方針である。					

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	1 焼津市における良好な住環境の実現 (地域住宅計画)	交付対象	静岡県、焼津市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成29年度 (6年間)		

1-A1-1~5
 公営住宅等ストック総合改善事業
 (市営住宅西松原団地外個別改善事業)

1-A1-6
 住宅市街地基盤整備事業
 (焼津南部地区)

1-A1-7
 空き家再生等推進事業
 (全域:空き家実態調査)
 (全域:空き家住宅の除却費補助)

1-C-1
 重度身体障害者住宅改造費助成事業
 (市内全域)

1-C-2
 津波避難用外階段設置事業
 (成案待団地、西松原団地)

